(1)団体コード	(2)都道府県名	(3)市町村名	(4)事業区分	(5)事業名	(6)事業総額（千円）				(7)事業内容	(8)針広混交林化、広葉樹林化に関係する事業は「○」を選択	(9)自治体間連携に関係する事業は「○」を選択	(10)実績																					(11)税導入の効果
												森林整備関係								人材育成・担い手確保対策					普及啓発（イベント等）			公共施設等の木材利用					
												（ア）森林経営管理法に基づく経営管理意向調査実施面積(ha)	間伐等実施面積			路網整備			（ク）その他	（ケ）事業体等への助成		（コ）研修、講習、求人イベント等		（サ）その他	（シ）研修や普及啓発イベント等		（ス）その他	（セ）公共施設等の木材利用			（ソ）その他	（タ）その他	
					(A)+(B)+(C)	(A)うち令和３年度の森林環境譲与税（千円）	(B)うち基金取崩額（千円）	(C)うち他の財源（千円）					（イ）間伐(ha)	（ウ）除伐(ha)	（エ）その他（作業種、実績値を記載）	（オ）林道・林業専用道の開設延長(m)	（カ）森林作業道の開設延長(m)	（キ）その他（作業種、実績値を記載）		事業体数	支援対象者数（人）	回数（回）	参加者数（人）		回数（回）	参加者・体験者数（人）		施設数	木材使用量(m3)	うち国産材(m3)			
192040	山梨県	都留市	① 意向調査の準備作業	森林経営管理制度業務委託	765	765.0			経営管理制度に基づく意向調査の対象森林の所在を明らかにするため、過去10年の市内森林の施業履歴の精査を実施しシェープ形式での提供を求める業務を委託。										過去10年の市内森林の施業履歴のデータ作成														
192040	山梨県	都留市	⑥ 担い手確保	都留市森の学校事業	3,531	3,531.0			林業従事者の高齢化及び担い手の不足が顕著となり、森林の荒廃が進んでいるため、市内の山林の状況と整備の必要性を周知するとともに、森林整備に必要な知識及び技術指導を行う中で、担い手の育成・確保に係るプログラムを実施する業務を委託。											1	28	12	285										
192040	山梨県	都留市	⑤ 森林・林業・木材普及活動等	城下町テイスト黒板塗装事業	4,683	4,683.0			市の観光戦略に基づき、谷村城下町・歴史エリアに指定した一部区域内にある公共施設等の塀及びフェンス等に、地域内の間伐材を活用した黒板（塗炭）を彩ることで、城下町のテイストを醸成し、地域内の間伐材の利用促進及び森林の公益的機能に係る普及促進につなげる。																							間伐材活用黒板設置755枚等	
192040	山梨県	都留市	⑤ 森林・林業・木材普及活動等	間伐材を活用した名札ケース作成	329	329.0			地域内の間伐材、塗炭及び地場産品であるネクタイ地を活用した市オリジナルの名札ケースを作成し、木材利用の普及促進につなげる。																						間伐材活用名札ケース94個等	
192040	山梨県	都留市	⑦ その他（森林整備）	必要物品の購入等	288	288.0			子ども向け森林環境教育プログラムの組立に必要となる各種物品及び昨年度導入したレーザーカッターの維持管理等に必要な費用。																							レーザーカッター用スキャナー：1台 レーザーカッター用イラストレーターライセンス：1式 子供向け森林環境教育のための消耗品（ヘルメット等）：1式	【ワンフレーズ】 森林環境譲与税を活用して、森の学校事業を実施したことで、地域内の担い手候補者の確保・育成につながり、市内の間伐材を利用した黒板の設置により、城下町テイストの醸成を促進できた。 名札ケースの作成については、木材利用促進だけでなく、地場産業の振興、障がい者の所得向上に寄与する新たな取組みであり、報道発表等により、幅広に普及啓発を行っているため、次年度以降も積極的に取組んでいく予定である。 また、市内山林の施業履歴の精査を実施したことで、森林経営管理制度に基づく森林施業に着手するための準備が前進した。 【詳細】 本市は、森林の面積が総面積の約84%を占めており、近年、若者の地域離れや林業従事者の高齢化による地域森林の担い手不足、所有者の森林離れ、植林後に放置された未整備の人工林の増加等により、森林の荒廃が深刻化している。また、放置された森林は野生鳥獣による農作物被害や林業被害の温床ともなり、市内の森林荒廃を更に進める要因となっている。 森の学校事業等の各種事業を展開することで、市内の森林の現状と整備の必要性を幅広く周知するとともに、森林整備に必要となる知識や技術の指導を行い、市民の森林に対する意識向上を図る中で、担い手の育成、森林整備、木材の利用促進等による地域の活性化につなげることが出来た。 今後は、森林経営管理制度に基づき、市町村主体で実施する森林整備の増加が見込まれるため、必要な財源を確保しておくために基金への積立てを実施した。
192040	山梨県	都留市	⑦ 基金積立（森林整備等）	基金積立	8,900	8,900.0			森林経営計画制度に基づいて、市内森林を計画的に整備していくため、基金への積立を実施。																								